

頁	行	誤	正
397	表 11・ 2・15 但し書き	計算条件:断熱材の $\lambda=0.0291\text{W/m}^2\cdot\text{K}$ , 土 壤の $\lambda_g=0.465\text{W/m}^2\cdot\text{K}$ , 安定温度 $\delta_g=1\text{m}$ において $7^\circ\text{C}$	計算条件:断熱材の $\lambda=0.0291\text{W/m}\cdot\text{K}$ , 土 壤の $\lambda_g=0.465\text{W/m}\cdot\text{K}$ , 安定温度 $\delta_g=1\text{m}$ において $7^\circ\text{C}$
399	左 1～ 左 7	を $0.35\text{W/m}^3$ とすれば、所要通風量は、表 11・ 2・14 の熱流束 $q$ の値と式 (16) より求め られる管のピッチと、 $Q_L = 2 \cdot \alpha \cdot \pi \cdot d \cdot L \cdot (\theta_c - \theta_A)$ ..... (18) $Q_L = 0.35 \cdot V_a \cdot (\theta_1 - \theta_2)$ ..... (19) ここに、 $Q_L$ : 管長さ $L$ (m) の放熱量 (W) $\alpha$ : 管外面の熱伝達率 ( $\text{W/m}^2\cdot\text{K}$ )	を $1.256\text{kJ/m}^3\cdot\text{K}$ とすれば、所要通風量は、 表 11・2・15 の熱流束 $q$ の値と式 (17) よ り求められる管のピッチと、 $Q_L = 2 \cdot \alpha \cdot \pi \cdot d \cdot L \cdot (\theta_c - \theta_A)$ ..... (18) $Q_L = 1.256 \cdot V_a \cdot (\theta_1 - \theta_2) \cdot 1/3.6$ ..... (19) ここに、 $Q_L$ : 管長さ $L$ (m) の放熱量 (W) $\alpha$ : 管内面の熱伝達率 ( $\text{W/m}^2\cdot\text{K}$ )
401	左 19～ 左 38	(5) 換気による熱量 式(29)以降、式(30)までの記載事項を変更修 正する。	(5) 換気による熱量 式(29)及び式 (30) を削除し、左 24 行目か ら左 28 行目までの文章の後に以下を追加す る。  進入空気による熱負荷計算式 $q_t = q D_t D_f (1-E)$ ..... (30) $q_t$ : 進入空気による 24 時間の平均熱負荷 (kW) $q$ : 顕熱および潜熱を合計した熱負荷 (kW) $D_t$ : 扉開放時間係数 $D_t = (P\theta_p + 60\theta_o) / 3600\theta_d$ $P$ : 扉通過回数 (回)、 $\theta_p$ : 通過時の扉開時間 (s/回)、 $\theta_o$ : その他の扉開時間 (min)、 $\theta_d$ : 一日あたりの冷却時間 (h) $D_f$ : 扉空気の流れの係数 $E$ : 扉開口部の抵抗係数

			<p><math>q</math> の算定については、Gosney and Olama (1974)の計算式が示されている。</p> $q = 0.221A(h_i - h_r) \rho_r (1 - \rho_i / \rho_r)^{0.5} (gH)^{0.5} F_m$ <p><math>q</math> : 顕熱および潜熱を合計した熱負荷 (kW)  <math>A</math> : 扉開口面積 (m<sup>2</sup>)  <math>h_i</math> : 進入空気のエンタルピー (kJ/kg)  <math>h_r</math> : 冷蔵庫内空気のエンタルピー (kJ/kg)  <math>\rho_i</math> : 進入空気の密度 (kg/m<sup>3</sup>)  <math>\rho_r</math> : 冷蔵庫内空気の密度 (kg/m<sup>3</sup>)  <math>g</math> : 重力の加速度 (9.81m/s<sup>2</sup>)  <math>H</math> : 扉開口高さ (m)  <math>F_m</math> : 密度による係数</p> $F_m = \{2 / (1 + (\rho_r / \rho_i)^{1/3})\}^{1.5}$
402	文献	2) 日本冷凍空調学会：「冷凍空調便覧」，4巻，第5版，p.148 (社)日本冷凍協会，東京 (1993)	2) 「2006 ASHRAE Handbook Refrigeration SI edition」，pp.13.4-13.5
402	文献	5) (社) 日本冷凍空調学会編：「新版 冷蔵倉庫」，pp.36-53 (1990)	5) (社) 日本冷凍空調学会編：「新版 冷蔵倉庫」，pp.31-32 (1990)